

高田教区宗祖親鸞聖人750回御遠忌

御遠忌通信

第4号

発行日 2013年5月15日
 責任者 森田 成美
 編集 御遠忌広報実行委員会
 連絡先 真宗大谷派高田教務所
 上越市寺町 2-24-4
 TEL: 025-524-3913
 FAX: 025-524-2645

御遠忌
テーマ

私はどこで生きているのか ～たずねよう真宗の教えに～

教区御遠忌総計画・予算が策定される

去る五月一日、第六回目となる高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌推進委員会が開催され、五年後に厳修予定の教区御遠忌の総計画及び総予算が示されました。

この総計画については、二〇一一年八月に発足した当推進委員会、またその中に設置された各部会や御修復委員会において約二年間協議され、このたびまとめられたものです。御遠忌法要当日の儀式や記念事業である高田別院山門並びに新井別院本堂屋根の修復計画、また、様々な行事、参拝計画など、予算とともに慎重審議されました。(総計画については次頁に記載)

御遠忌総計画の各組説明会を開催

このたび、委員会で確認された総計画について、下記のとおり各組説明会が開催されます。

この説明会は、教区内僧侶及びご門徒に対し、計画の周知を図るとともにご意見をいただくものです。いただいたご意見は、委員会において最終調整され、今夏開催の教区会及び教区門徒会において正式に決定します。

説明会には、御遠忌推進委員長若しくは同副委員長、教務所長及び教務所員一名の三名が巡回しますので、住職方におかれましては、有縁の方々にお知らせいただき、多数説明会にご参加ください。

【御遠忌総計画案の各組説明会日程一覧】

組	期日	時間	場所
第13組	5月20日(月)	14:00	最尊寺
第5組	5月23日(木)	13:30	光源寺
第2組	5月28日(火)	13:30	法圓寺
第1組	5月29日(水)	14:00	寶光寺
第11組	5月30日(木)	14:00	稱專寺
第6組	5月31日(金)	17:00	高田別院
第8組	6月3日(月)	14:00	高田別院
第3組	6月5日(水)	14:00	正光寺
第12組	6月6日(木)	15:00	吉川コミュニティ プラザ大会議室
第4組	6月11日(火)	14:00	西勝寺
第7組	6月13日(木)	14:00	新井別院

※開催順

○説明会次第

- ・教務所長挨拶
- ・委員長挨拶
- ・事務局説明
- ・質疑応答

※挨拶・説明で30分、質疑応答で30～60分を予定

屋根の全面葺き替えを含む営繕的な修理を行う。

- ① 屋根は鉄板葺から銅板葺にする。
- ② 本堂床下の亀腹基壇の崩落箇所は粘土で整形し、漆喰仕上げを施す。
- ③ 入母屋屋根妻壁の土壁は、伝統工法により修理する。
- ④ 堂内の土壁は、破損状況に応じた修理とし、伝統工法により補修する。

4 教区教化体制の見直し

(1) 概要

現在の教区、組及び別院の教化体制を確認し、見直すことにより、今後の教区教化体制が有機的に機能するように改革する。具体的には、「教区教化体制の改革に向けた実行委員会（仮称）」を設置し、今後協議を進める。

(2) 委員構成

教化委員会幹事会員 12 名、両別院関係者から 2 名ずつと、組教化委員長の中から互選した者 4 名の計 20 名で組織する。

5 記念出版

(1) 『上越真宗教団のあゆみ』再版

① 概要

以前（昭和 45 年）発行した標記冊子の復刻版を発行する。

② 発行部数 1,000 部

全寺院に 1 冊、無償配布。残部は金額を定め、有償頒布。

(2) 記念講演録の出版

御遠忌記念講演の講演録を御遠忌記念出版物として発行する。

行事広報計画

I 行事内容

1 教区記念大会

(1) 期 日 2018 年 4 月 22 日（日）

(2) 場 所 上越文化会館大ホール

(3) 内 容

《午前》(9:00 開場)

① 子ども大会

大谷保育協会各園の園児の発表など。

《午後》(13:00 開場 16:00 閉会)

② 音楽法要

合唱団による讃歌、教区内僧侶による坂東曲。

③ 記念講演

今井雅晴氏（筑波大学名誉教授）予定

2 御門首レセプション

(1) 日 時 2018 年 4 月 22 日（日）夕刻

(2) 参加人数 150 名

(3) 場 所 デュオセレッソ

3 真宗落語の口演

(1) 日 時 2018 年 4 月 20 日（金）夕刻

(2) 場 所 高田別院本堂

(3) 出演者 三遊亭白鳥 予定

（落語協会真打／上越市出身）

(4) 内 容 創作落語

真宗の教義や親鸞聖人の生涯

4 尾神嶽報尽碑参拝法要

(1) 期 日 2018 年 5 月下旬 午後

(2) 場 所 尾神嶽報尽為期碑

スカイトピア遊ランド

5 展示

(1) 期 間 2018 年 4 月 1 日～5 月 20 日

(50 日間)

(2) 場 所 高田別院・新井別院

(3) 内 容

① 上越地方の御旧跡パネル

② 大谷保育協会加盟保育園・幼稚園園児による絵画展 他

6 俳句大会

(1) 期 日 御遠忌法要の半年前後

（2017 年 11 月頃もしくは 2018 年 10 月頃）

(2) 場 所 高田別院

(3) 募集人数 200 人程度

II 広報内容

1. ポスター（3 種類）

デザインは公募する。

2. チラシ（2 種類）

御遠忌法要、教区記念大会。

3. パンフレット（法要直前に発行）

体裁はカラー、掲載内容は挨拶・法要次第及び講師・記念大会・行事紹介等。

4. 御遠忌通信（年 3 回程発行）

参拝計画

1 団体参拝について

御遠忌法要及び記念大会には、各組よりバスでの団体参拝をお願いし、教区より補助（目安半額）をする。

(1) 法 要 一座バス 4 台×8 座=32 台

（一座：バス一台 40 人×4 台=160 人）

一座 160 人×8 座=1,280 人

(2) 記念大会 各組 1 台×11 カ組=バス 11 台

高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌総計画（案）

＜御遠忌法要等日程＞

2018年4月			会場	午前	午後	
1日目	18日	水	高田別院	【山門・納骨堂落慶法要】	【高田別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌】初逮夜(*)	
2日目	19日	木		初晨朝	初日中(*)	中逮夜・御伝鈔(*)
3日目	20日	金		中晨朝	中日中(*)	結願逮夜(*)
4日目	21日	土		結願晨朝	結願日中(*)	
5日目	22日	日	上越文化会館 大ホール	【教区記念大会】 子ども大会	音楽法要・坂東曲・記念講演・ 御門首レセプション	
6日目	23日	月	新井別院	【本堂屋根修復落慶法要 兼 恵信尼公七百五十回忌法要】	【新井別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌】結願逮夜(*)	
7日目	24日	火		結願晨朝	結願日中(*)	

・(*)印： 各法要後に法話

・御遠忌讃仰期間： 2018年4月1日から5月20日まで（50日間）

財務計画

1 懇志奨励

(1) 懇志金名称

高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌
懇志金

(2) 総予算 3億9,980万円

(3) 募財総額 2億4,980万円

(4) 募財期間

2013年7月1日～2018年2月28日
(5会計年度・4年8ヵ月)

(5) 割当方法

① 寺院懇志金

門徒割：1万円、寺院均等割：3万円

② 住職・代務者懇志金

住職及び当寺所属代務者：3万円

③ 特別懇志金

儀式法要計画

1 御親修、御参修について

結願逮夜と結願晨朝を御参修とし、結願日中
を御親修とする。(高田・新井別院両方)

2 帰敬式

(1) 期 日 2018年4月21日(土)

※結願日中終了後

(2) 場 所 高田別院本堂

(3) 募集人数 200名

(4) 礼 金 12,000円

記念事業計画

1 高田別院山門修復

(1) 設計・監理 もば建築文化研究所

(2) 監 修 山崎完一氏《一級建築
士、設計専攻建築士(伝統建築保護修復)》

(3) 主な修理方針 「半解体修理」(所工期
24～30ヵ月)

組物より上を解体し、軸部を締め直し、
破損材の取替え、繕いを行ったうえで再
度組み上げる。

① 屋根は棧瓦葺から柿型銅板葺に復原する。

② 小屋組内の補強を施し、軒の支柱12本を
極力減らすことを検討する。

③ 欄間の彫刻類のうち、左右対称により復原
可能なものは、破損部の補修、欠損部の復
原を行う。

④ 付帯工事として左右に接続する築地型太
鼓塀の修理を行う。

⑤ 山門解体時、修復中に木部が雨や雪にさら
されないよう素屋根を設置し、工事を行う。

2 高田別院納骨堂改築

高田別院納骨堂改築は、教区御遠忌の記念事
業とするが、募財は高田別院で行う。

3 新井別院本堂屋根修復

(1) 設計・監理 もば建築文化研究所

(2) 主な修理方針 「屋根葺き替え及び部
分修理」(所工期12～18ヵ月)

高田教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌特別会計総予算(案)

自2013年7月1日 至2018年6月30日

収入総額 310,823,000 円也

支出総額 310,823,000 円也

【収入の部】

項目	費 目	予算額	備 考
1	冥加金	3,840,000	帰敬式、御門首レセプション参加費
2	懇志金	249,800,000	門徒割1万円、寺院均等割3万円、住職・代務者懇志金3万円
3	教化交付金	122,727	過年度御遠忌・御修復懇志金収納額の3%
4	回付受金	32,000,000	教区御遠忌推進事業特別会計、高田別院、新井別院
5	助成金	25,000,000	高田別院山門、新井別院本堂御修復宗派助成金
6	雑収入	60,273	預金利息他
合 計		310,823,000	

【支出の部】

項目	費 目	予算額	備 考
1	法要費	11,470,000	高田・新井別院法要、恵信尼公法要、荘厳費、帰敬式執行費、報尽為期碑参拝法要費
2	教化費	6,040,000	記念大会(子ども大会・音楽法要・記念講演)、真宗落語、俳句大会、御門首レセプション、各種展示、印刷経費(ポスター・チラシ・パンフレット・御遠忌通信・記念記録誌)
3	記念事業費	268,100,000	高田・新井別院御修復費、設計監理費 (高田別院:1億9,370万円、新井別院:7,440万円)
4	事業推進費	6,100,000	会議旅費、渉外費、郵便費、バス補助経費
5	調進費	2,000,000	寺院懇志金完納記念品、参拝記念品調整費
6	予備費	17,113,000	
合 計		310,823,000	

※上記、総予算(案)の収入・支出総額は実質金額であり、年度毎に予算組みをする場合、費目金額を適正額とし、収入・支出総額のバランスをとるため、上記会計とは別に御遠忌積立金特別会計を設ける。そのため、収入が多く、支出の少ない年度は、この会計から一定の額を積立特別会計へ回付し、逆に収入が少なく、支出が多い年度は、積立金特別会計から不足分をこの会計へ回付することとなり、各年度の予算を想定した場合、総予算額は上記にない回付金・回付受金として9,000万円弱程のやり繰りが生じ、その額を収入・支出に加えることにより、総予算額(3頁記載)として3億9,980万円の額となることが予想される。